

虹消える 髪はほどいて結いなおす

川柳・文  
やがみ きりこ  
八上 桐子  
さん

故・時実新子の句に出会い、川柳を詠み始める。「時実新子の川柳大学」の終刊(2007年8月)まで会員。現在「海月句会」世話人。文芸ミニコミ誌「くねる」も絶賛発行中。伊丹市在住。

書  
かねこ さちよ  
金子 祥代  
さん

7歳から書を始める。長年の古典臨書をベースに、アートとしての書を追究。現在「芦屋書道くらぶ」を主宰。アートブック「インクの魔法」(幻冬舎ルネッサンス)も絶賛発売中。神戸市在住。



# コラボレート★ショー

2人のアーティストが新聞紙上を舞台にコラボレート(共同制作)します。今回は川柳作家と書家が「虹」をテーマに書きました。

「虹になったことがあるのよ」と、雫が言った。

「それで、どんな気持ちだった？」

「なんだかさみしかった…虹になるとき、み～んな置いていってしまうの」

「ふうん…空も海も、山も？」

「うん、今までつながってきたなにかも…わたしが雫ってことだって、一瞬忘れてしまったの」

「…そう…おかえり、雫」

◇原則第1金曜日に掲載します。